

確かな学力の向上に向けて

全国学力・学習状況調査の結果について(6年生)

6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。教科は国語、算数、理科です。国語と算数はそれぞれ「A...主として知識に関する問題」と「B...主として活用に関する問題」に分けられて出題されました。結果は以下の通りです。

調査結果の概要

教科	5年生の時の学習定着度調査	教科	今回の学力・学習状況調査
国語	福岡市の平均と比べ上回っている	国語A	全国標準と比べて上回っている
算数	福岡市の平均と比べ上回っている	国語B	全国標準と比べて上回っている
理科	実施無し	算数A	全国標準と比べて同程度である
		算数B	全国標準と比べてやや上回っている
		理科	全国標準と比べて上回っている

結果の分析と今後の取組の改善

【国語】

基本的な学習内容の定着は見られる。ただし本校に限らず「与えられた情報等に関して、自分の考えを文章で表すこと」に関しては、苦手な傾向があらわれている

【算数】

数量や図形についての基本的な知識・理解は定着しているが、2つ以上の数量的な関係を問う問題については、苦手な傾向があらわれている

【理科】

科学的な用語や知識に関する内容については定着しているが、これまで学んだことを活用して予想を立てたり、考えを深めたりすることに関しては、多少苦手な傾向が現れている



今後の取組の改善について

- ・「基本的な学習内容の定着」については、一定の成果が現れていると考えられる。今後も1時間の授業の中で子どもたちに「教えること」と子どもたちに「考えさせ、学ばせること」を区別した授業づくりに取り組んでいく
- ・授業の中で「自分の考えを書くこと」「お互いの考えを交流し合うこと」にしっかりと取り組ませたい。また日記等、日常的に「書かせること」についても帰りの会や家庭学習の中で取り組ませたい
- ・家庭学習について、子どもたちにメニューや方法等について具体的に提示し、家庭学習習慣の定着や内容の充実を目指していきたい
- ・小中一貫教育に向けて、小学校での成果と課題を整理し、中学校へしっかりとつなぎながら、取組に活かしていきたい